

GOOD DESIGN AWARD 2019 BEST100 受賞

SDGs de 地方創生 Camp をリリース

持続可能な地域づくり人材を日本各地に!



GOOD DESIGN
AWARD 2019

**BEST
100**

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、地域の様々な課題をデザインの持つ美と共感の力で解決する特定非営利活動法人イシュープラスデザイン（東京都千代田区 代表理事 筧裕介）は、株式会社プロジェクトデザイン（富山県滑川市 代表取締役社長 福井信英）とともに開発したGOOD DESIGN AWARD 2019 BEST100に選出されたカードゲーム『SDGs de 地方創生』を活用した自治体および企業向けの人材育成パッケージ【SDGs de 地方創生 Camp】を新しくリリースする。

本リリースを持って、SDGsや地方創生（まちづくり）に積極的な自治体や企業、その他団体からの依頼を随時受け付ける。

「SDGs de 地方創生」開発の背景

2015年に国連193か国によって全会一致で採択された持続可能な世界を実現するための17ゴールと169のターゲットを明示した「SDGs」と、国家戦略であるまち・ひと・しごと創生法に基づき各地で展開されている「地方創生」。

そのどちらとも言葉は知っていても本質を理解する機会にはなかなかめぐり合えません。SDGsの視点から見た世界も、地方創生の視点から見た日本国内も、社会や地域には行政と民間、組織内での縦割り、過去・現在・未来、地域と地域、世代間、ジェンダーなど様々な分断が存在し、対立構造の事例に枚挙に暇がないのが現代です。個々の立場や領域を越え、持続可能な社会や地域の未来をともに見つめた活動は、どのようにしたら実装されてゆくのか。異なる領域で活動をしている一人ひとりが社会や地域全体に目を向け、誰一人取り残されない未来を創造するためには何が必要なのか。

こうした課題意識から、SDGsで地方創生の本質を体験的・体感的に学べる場を創出したいと強く思い『SDGs de 地方創生』は開発されました。

3つのパッケージと価格帯について



【SDGs de 地方創生 Camp】は、自治体や企業の要望に応じて以下3つのパッケージを展開します。

BASIC CAMP SDGsの理解促進

SDGs de 地方創生ゲーム + SDGs 基礎講座

→ SDGsと地方創生の本質理解、および対話や協働のスキルを向上するプラン

《時間》3時間 《基本料金》150,000円 + 参加者1名につき5,000円

STANDARD CAMP 理解促進・アクション企画

SDGs de 地方創生ゲーム + SDGs基礎講座 + SDGs実践アクション創出ワークショップ

→ SDGsと地方創生の本質理解、および対話や協働のスキルを向上し、持続可能な地域に必要なアクションを創出するプラン

《時間》1日 《基本料金》300,000円 + 参加者1名につき10,000円

ADVANCED CAMP 理解・地域分析・アクション企画

SDGs de 地方創生ゲーム研修 + SDGs基礎講座 + SDGs地域課題構造化ワークショップ + SDGs実践アクション創出ワークショップ

→ SDGsと地方創生の本質理解、および対話や協働のスキルを向上し、地域の複雑な課題を構造的に理解し、具体的なアクションを創出するプラン

《時間》1.5 - 2日

《基本料金》500,000円～600,000円 + 参加者1名につき15,000円～20,000円 *応相談

ORIGINAL CAMP 地域・団体・企業オリジナル企画

総合計画などの未来ビジョンづくり、まちづくりアクション創出、SDGsに基づく商品・コンテンツ・事業開発、SDGs視点で地域づくりや事業開発に挑む人材開発など、自治体や企業の課題に応じた、オリジナルのトレーニングプログラムを提供するプラン

《時間》応相談。合宿形式・5回程度のシリーズ形式など

《基本料金》内容・時間数に応じて個別でお見積りいたします

各種お問い合わせ・ご相談

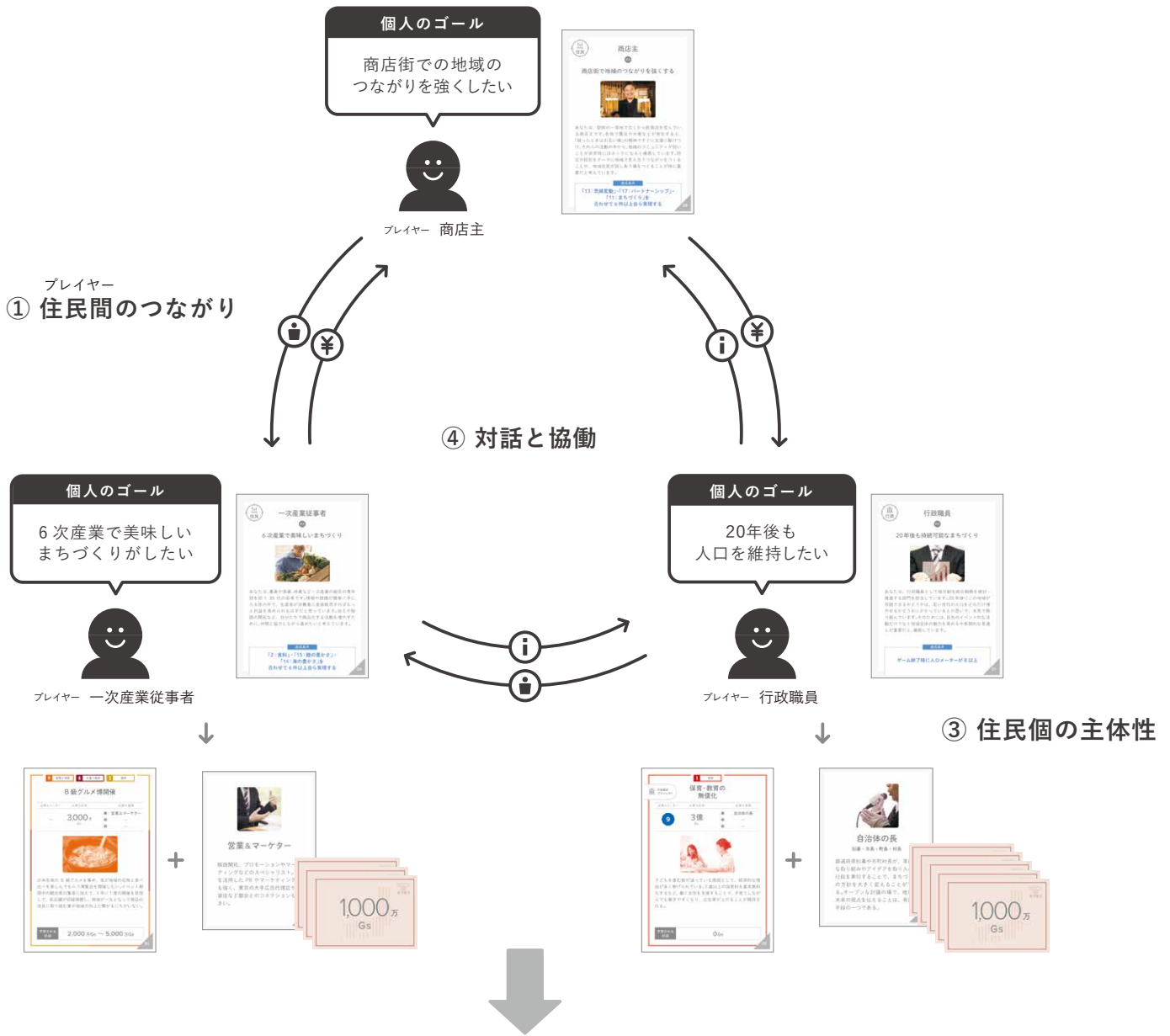
MAIL : info@issueplusdesign.jp WEB : <https://sdgslocal.jp/>
(SDGs de 地方創生 Camp 事務局 担当: 小菅・佐藤)

issue + design Project Design
株式会社プロジェクトデザイン

参考資料1 SDGs de 地方創生ゲーム研修

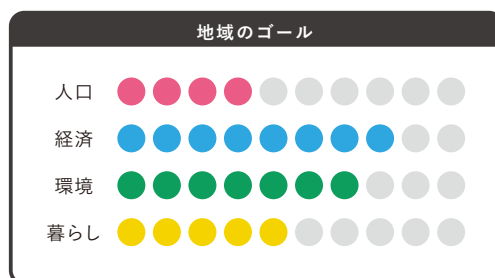
住民・事業者・行政など、地域の多様なプレイヤー同士が協働しながら、地域の「人資源」と「お金」を用いてまちづくりプロジェクトを実践し、「個人のゴール」と「地域のゴール」を目指すゲームです。SDGs×地方創生の全体性、協働・対話の重要性を体感的に学べます。

「人と経済の生態系」が息づいた持続可能な
地域実現に必要な「対話と協働」をサイエンス化



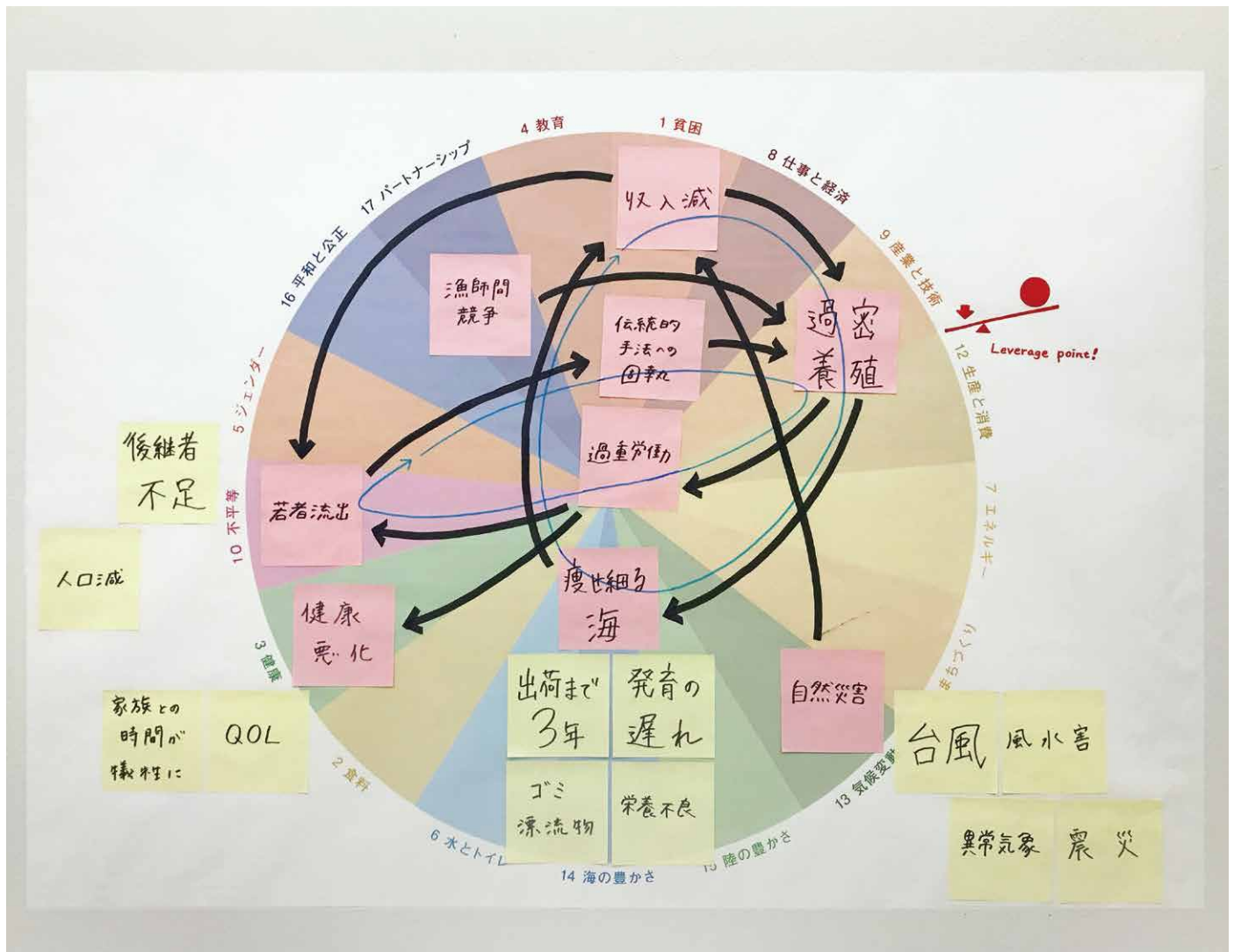
② 住民個と地域のつながり

プロジェクトの達成に伴い、地域の状況パラメーターが変化



参考資料2 SDGs 地域課題構造化ワークショップ

SDGsの17領域別の地域課題、そして課題同士の因果関係を可視化し、課題の全体像と複雑に絡み合った背後の構造を理解するとともに、持続可能な地域の実現のために優先的に取り組むべき領域（レバレッジポイント）を明らかにするワークショップ。



参考資料3 SDGs 実践アクション創出ワークショップ

ゲーム型研修、および地域課題構造化ワークショップを通じて、明らかになった地方創生課題を解決するための実践アクションのアイデアを発想し、具体的にシナリオ化するワークショップ。

- STEP 1 領域別課題解決アイデアの発想
- ↓
- STEP 2 SDGs視点でのアイデアの評価
- ↓
- STEP 3 アイデアの統合化と具体シナリオ化
- ↓
- STEP 4 アイデア実現のアクションプラン企画

みんながたのいよと云えるゲストハウス

| | | |
|------------------|-------------------|--------------------|
| 月に1回のみんまでシェアキッチン | 語りあひつながりのあるゲストハウス | 泊まる古民家カフェ |
| 来た人みんなにおかえり運動 | | そとで木の軒下が活用できる場所がある |

いっ 寂しいなと感じたとき、誰かの人生にたて語りよこさ

ここ 古民家を改装したゲストハウス

ここ 地元の人でも、地元外の人でも、誰でも

- ・おかえりに行って迎えてくれるスタッフ
- ・みんなと囲む食事がある
- ・夜遅くまで語り合える泊る個室スペース
- ・自分の特技をいれて、お客さんのサービス提供者になる余地がある